

観光社会資本の事例

テーマ	古川の町屋建築の景観を活かした街なみ整備
【施設の状況写真】	
	
修景整備された街なみに合わせて、脱色アスファルト舗装を行い、統一感を持たせている。	古くからの建築様式(がんぎょう、出格子、雲肘木)等デザイン・ガイドラインに基づいて修景整備が行われている。
【施設の利用写真】	
	
観光客の少ない冬季においても、伝統行事に地元住民だけでなく、大勢の観光客が訪れるようになった。	空き家店舗を修景整備し、土産物屋として再生した例で、観光客の立ち寄りポイントとなっている。
【観光資源としての利用状況】	
街なみ環境整備事業により修景整備された伝統的町屋建築、カラー舗装された道路や屋台蔵を中心としたポケットパーク等により形成される街並みは、古川の歴史・文化・技術を継承するとともに、伝統的行事・イベントの開催と相俟って、地元住民と観光客との交流を促進し、観光客にとって歩いて楽しめる観光スポットとして利用されています。	

